



市学校教育課  
とだか たけあき  
戸高 文聡 指導主事

「自由」な研究で  
学ぶ楽しさを

自由研究は、その名のとおりに「自由」にテーマを設定することができ、何をやるのか・どのようなものかを決められていないため、自分で課題を設定し解決方法を探り、自分の力で答えを明らかにする経験ができます。これは子どもの主体性や創造性、問題解決力を高めると同時に、学ぶ楽しさや達成感を得ることにつながります。

一方で、自由にテーマを設定できるが故に何をしたいか迷ってしまう人も多いかと思えます。特に小学校低学年のお子さんは自分で課題を決めることが難しい場合もあるので、保護者のサポートが必要。子どもの好きなことや興味・関心があること、学校での学習の中から内容を発展させたもの、疑問に思ったこと、面白そうだなと思ったことをテーマとして設定すれば、主体的に課題に向き合うことができ、学ぶ楽しさを感じられるでしょう。

お子さんが普段から感じている興味や疑問に耳を傾けることで、一人ひとりに合った自由研究のテーマが見つけれられると思います。

その一方で、保護者によるサポートは、子どもたちの主体性や創造性を妨げないように行う必要があります。保護者主導で自由研究をまとめてしまうと、お子さんに学ぶ楽しさや達成感を感じさせることができなくなってしまうかもしれません。あくまで子どもがやりたいことをサポートし、時には見守るようになさってください。

ぜひお子さんの自由研究を応援しながら一緒に楽しんであげてください。かけがえのない作品を作り上げ夏休みを満喫しましょう。



夏休み期間中に出される宿題の一つ「自由研究」。学校の先生や授業から離れて、自分の興味があることや分からないことを子ども自身の力で調べたり深く考えたりしながら、それぞれの研究を行っていきます。そこで、今号は自由研究のプロによるアドバイスや、ヒントになる施設を紹介。さあ、今年の夏は自由研究に挑戦しよう!!